※令和４年度以降入学生用

学校番号	1013

令和８年度　看護科

教科	看護科	科目	成人と母子の看護(後期)	単位数	２単位	年次	３年後期
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

病気の予防や治療について、日常生活と関連させながら具体的に学び、異なる世代にある人へのかかわり方を考えます。ライフサイクルのそれぞれの時期における健康問題、生活と人生の質について学び、医療従事者がそれらの人々にどのように関わってくのかを考えます。基本的な看護技術や、高齢者体験実習も行います。
実習への取り組み態度や実技テスト、実習レポートと小テストなどで評価を行います。

2　学習の到達目標

人間のライフサイクルや、自身も経験する加齢による老化によって引き起こされる健康障害について学び、考えることができる。
看護を行うために必要な成人・老人および小児を統合的に理解する視点を養う。母子の特質を理解し、妊娠・出産・保育に関する基礎知識と技術を身に着けることができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	老年期の特質や加齢による老化,ターミナルケアに関する基礎知識と技術を習得している。 個人によって異なるライフスタイルや生活習慣が健康に与える影響を理解したうえでヘルスプロモーションや機能障害の看護に関わる基本的な知識と技術を習得する。	少子高齢化の進行、入院期間の短縮、在宅医療の拡大を踏まえ、健康の保持増進や、生活と人生の質について思考し、表現できている。 成人期・老人期における健康問題を学び、統合的にアセスメントできる視点を養う。	看護の職業倫理を踏まえて課題を発見し、主体的かつ協働的に解決する力を養う。 看護を行うための基本的態度の育成を図る。 将来の職業への興味を深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	母性看護	1)妊娠および出産後の母体の変化 2)女性のライフサイクル	a:妊娠・分娩・産褥期の母体の生理的変化について理解できる b:女性を取り巻く問題について理解できる	筆記テスト	実習レポート、講義レポート	実習、実技テスト
	老年看護	1)老年期の特徴 2)高齢者の日常生活の障害と看護	a:高齢者の特徴が理解できている b:高齢者の日常生活上の障害を知りその援助方法について考えることができる c:積極的に実習に参加できる			
	精神看護	1)精神構造と機能 2)心の病気 3)ストレス	a:身体と精神の繋がりについて理解できる			

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度